



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

# そら

発行人

こぐま福祉会  
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



冷たくて 気持ちいい♪



寒天、つかむの  
難しいなあ

## 夏のあそび



片栗粉にお水入れたら、不思議な感触！



つるつる ぷにぷに ♡

心の窓



生活介護事業  
べあクラブ  
まいさん

まいは、二女で4つ上の姉がいます。姉の存在は大きくよく真似をします。イケメン、かっこいいを覚えジャニーズ、俳優、人物名を雑誌やスマホから見つけ、いつしかこの人と結婚したいと夢見るお年頃。月日は早いもので、7月で24才になります。

当時は、家族8人親と同居暮らし。気持ちに余裕もなく毎日慌ただしくマタニティライフどころではありませんでした。

出産は、予定1週間前ギリギリに里帰り。やっぱ里はいいですね。夏空のお昼過ぎに陣痛。病院へ駆け込み出産も順調でした。

ところが産声が、ちよつとしてから、か細い声で聞こえてきました。何やら慌ただしい雰囲気を感じた私は、一目我が子を見ようと体を捻り

ようやく見えた姿は「紫？」  
「お母さん、赤ちゃんの呼吸に乱れがあり、今救急車を呼びました」と。気が付くと分娩室のすりガラスに雷雨の音が激しく聞こえていました。

この雨で20分遅れの到着。心配し

ましたが無事保育器に入れられて、しばし離れ離れ。とても辛く寂しい思いでした。

その後、聖マリア病院で検査結果の説明があり、ダウン症と判明。

まだ不安定な私は、理解できず全身の力が脱力状態となり、頭の中が真っ白になった事を今でも覚えています。「ダウン症のお子さんは育てやすいですよ」と言われ、「今後、成長に合わせてリハビリが必要になります」とこぐま学園を紹介され、見学に行き通うこととなりました。

保育園、小学校、中学から特別支援学校へと進み緑あふれるグラウンドでのびのび走り元気に活動しました。

卒業翌日からB型事業所スマイルワーク、同級生と共にお仕事頑張りました。楽しみは、工賃を頂き、作ったこぐまのごまクッキーを買うことでした。

今は、天気がきつかけで、偏頭痛と喘息でべあクラブさんにお世話になっております。スタンプラリーを楽ししみ、利用者さんスタッフの方々に支えられ、見守られながら回復傾向にあります。給食はカレーが大好き。無邪気で気難しさもありますが、これからも宜しくお願い致します。

(まいの母)



こぐまLINE



児童指導員  
こぐま  
樋口

児童指導員の樋口です。簡単に自己紹介をさせていただきます。

毎年4月、新グループの保護者の方に「福岡市から通勤しています」と自己紹介すると「ええ〜!」「何時間かかります?」と驚きの声をいただきます。ちなみに、片道1時間30分です。好きな本を読みつつ、電車に揺られながら通勤しています。最近は益田ミリスさんの旅エッセイがお気に入りです。「水族館のクラゲコーナーに泊まる旅」など少しユニークな旅行記を楽しんでいます。

こぐま学園は家から近い職場とは言えません。ただ、同伴通園を基本としている点に魅力を感じ、働きたいと強く思いました。毎日お子さんのために頑張られている保護者の方とお話しする時間や、一緒にお子さんの成長を喜べる瞬間がとても好きです。子どもたちや保護者の方が楽しそうな姿を見ると、こぐま学園に就職して良かったなと感じます。

頑張っているからこそ、一緒に登園することが辛く感じるときもあると思います。そんなときはスタッフに声を掛けてみてください。気持ちを共有して、一緒に考えたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

病児・病後児保育無償化!

福岡県では周辺地域に先駆けて、令和5年4月より県内在住の方向けに病児・病後児保育が無償化(お住まいの地域や時間外の利用等で料金がかかる場合があります)になりました。小郡市内には病児保育施設が二か所あり、その内の一か所が『こぐま子ども家』です。無償化になり、対象地域も広がり福岡県内の(一部を除いて)広範囲からご利用いただけるようになりました。こぐま子どもの家では、無償化になつて新型コロナが5類へ移行したこともあり、4月以降の利用者が例年に比べてとても増えています。どこの施設でも、定員や職員配置上ご利用のご希望に添えない場合もありますので、お住まいの近隣の病児・病後児保育を行っている施設の情報を得ておくとういと思います。施設によって対象や時間が違いますのでどうぞご確認ください。福岡県では4月より病児保育支援システムがスタートし、インターネット上で施設を探すことや申し込みをすることができるようになりました。『病児保育なび』で検索してみてください。

こぐま子どもの家では、親も子ども安心して利用できる病児・病後児保育を目指していきます。

(常務理事 林)



# ふれあい遠足に

## 行ってきました



5月の中旬に「はぐ」・「ゆう」、それぞれ2日間に分かれふれあい遠足に行っていました。コロナウイルス感染症も落ち着いてきましたが、今年もコロナ禍同様に感染症拡大防止の為、子どもたちが安心して安全に参加できる遠足を計画し実施に至りました。

「はぐ」と「ゆう」の前半グループのお友だちは筑前町の多目的運動公園「ポポロ」へ、後半グループのお友だちは毎年恒例の筑前町「夜須高原自然の森」に行っていました。

どちらもお天気に恵まれ、お友だちやお母さん・お父さんと一緒に自分の好きな場所で楽しい時間を過ごしました。初めての遠足で不安なお友だちもハンモックブランコの揺れに満面の笑みがこぼれていました。園庭の何倍もある大きな滑り台に初めは圧倒されていたお友だちもロープのトンネルをどんどんぐり頂上に着くとうれしそうにみんなに手を振っていました。巨大な恐竜ヤスゴンのアスレチックロープを夢中で登ってうれしそうに滑る子どもたち、今年も一人ひとりが色々な表情を見せてくれました。

そして、お昼には、子どもたちが楽しみにしていたお弁当タイム。保護者の方の手作りのお弁当にっこり笑顔が見られました。保護者の方にはたくさんのご協力を頂き、子どもたちにとっても楽しい思い出ができました。

(保育士 妹川)



# 利用者さん作品紹介

今年3月までこぐま福祉会の放課後等デイサービスに所属していた洋介さん。手先が器用で糊作りなども上手に行います。その中でも得意とする切り絵をご紹介します。

インターネットから題材を選び、それをカッターナイフで一つ一つ丁寧にカットしていきます。繊細で細かい作業ですが、とても集中しているとのこと。簡単なものは1〜2時間、複雑なものには10時間程で仕上げるそうです。

初めて作品を見せてもらった時は、とても感銘を受け、この作品を多くの方々に見てもらえたらと思います、広報誌「そら」へ掲載をさせて頂きました。洋介さんの素晴らしい作品と今後のご活躍を心より応援しています。

(保育士 川内)



# ボランティアさんインタビュー

愛らんどでボランティアとして活動されている「江頭さん」にインタビュー！

「はじめたきっかけは？」

20年前に小郡市広報での募集をみて応募したことが始まりです。

昔から子どもに関わるボランティアがしかなかったので応募しました。

「参加してみてどうでしたか？」

不安もありましたが、回数を重ねるごとに、参加することへの楽しみが増えました。数々の心温まる出逢いに励まされ、気づけば20年ほど継続しています。コロナ禍の3年間は、このボランティアが自分にとって大切な心の拠り所であり、自分の居場所であることに改めて気づかされました。

「これから始める方へメッセージを！」

ボランティアは、たくさんの人とのつながりを生み出してくれます。どこでどんな出逢いがあるのか、楽しみながらボランティアに参加してみてください。きっとさまざまなことを発見する機会になると思います。

こぐまのお母さんのような江頭さん！私達もたくさん笑顔とエネルギーをいただいています。ありがとうございます！

(相談員

荒巻)



### 小郡まじっくマルシェ

6月3日(土) イオン小郡ショッピングセンター店内において、小郡市自立支援協議会主催による『小郡まじっくマルシェ』に、就労支援B型事業所 Smile Work が参加しました。

今回は、利用者さんが作ったクッキーや苔玉を販売しました。また、いちごの収穫などの就労作業でお世話になっている、小郡市の『いただきますいちご園』さんのいちごも販売させていただきました。

リニューアルしたこぐまクッキーの売れ行きも好評で、利用者さんたちの自信にもつながったようでした。園内での販売も行う予定ですので、皆さんにご興味いただけますと幸いです。今後もしろいろなイベントに参加し、利用者さん方と共に社会経験を積んでいきたいと思えます。

(支援員 末安)

### クッキー販売



### いちご販売



### 作業風景



### 苔玉の販売



### 地域定期勉強会

(自閉式セミナー)

こぐま福祉会では、これまでも「障害を持つ子ども達の理解者を増やす事」「子ども達にとって安心安全な環境作りや関わり方をお伝えする事」を目的にセミナー等を企画してきました。昨年度より「自閉式セミナー」として小規模な学習会を月に1回の頻度で定期的に開催しております。今年度も地域の幼稚園、保育所、事業所および行政の方を対象に実施しています。「継続は力なり」と言うように、続けていく事で地域の支援力の底上げにつながっていくかと思います。

(研修担当 橋本)

### 職員研修報告

こぐま福祉会では、毎年6月に全職員の研修を行っています。

テーマは『防災対策』と『虐待防止』で社会において重要視されている内容です。福祉に関わる職員として必要な知識と心構えを学び、考え、振り返る、良い機会となります。

今年度は、大雨の降る6月30日(金)に行いました。実際に玄関に土のうを置き、雨量や近隣の状況を情報収集するなど防災対策が実技研修となりました。また、虐待防止研修の中では「慣れの中にある危険」をチェックリストで確認しました。

今後も学びの姿勢を忘れずより良い支援を目指していきます。

(職員研修係 宇野)

### 入退職者ご報告

#### 入職者

- ・中島 由希(看護師) 5月
- ・藤井 美紀子(看護師) 5月

#### 退職者

- ・和田 公士(営繕)
- ・中嶋 麻央(看護師)
- ・水田 千恵(看護師)

ありがとうございました

### 行事予定

- 8月 14日(月) ~ 15日(火) 夏季休暇のため休園
- 8月 19日(金) 避難訓練
- 8月 31日(木) ゆう年長児デイキャンプ
- 9月 1日(金) はぐ年長児デイキャンプ
- 9月 5日(火) 避難訓練
- 10月 11日(水) 避難訓練
- 10月 27日(金) はぐ・ゆうマラソン大会
- 10月 31日(火) 職員研修のため休園